

(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)の策定に向けた
これまでの取組における市民意見等について

- 1 市民意識調査 (P 2)
- 2 タウンミーティング (P 4)
- 3 子育てモニターとの市長懇談会 (P11)
- 4 高齢者大学での市長懇談会 (P12)
- 5 第1回あかしSDGs推進審議会 (P14)
- 6 あかしSDGs推進審議会委員への書面での意見聴取 (P15)

1 市民意識調査

(1) 調査概要

①対 象	18歳以上の市民5,000人（住民基本台帳からの無作為抽出） ※内2,000人は過去5年以内の転入者を抽出
②方 法	郵送調査
③期 間	発送・回収：2019年6～7月
④回収結果	回答者数3,265人（回収率65.3%） ①全市民対象（3,000人） 2,097人（回収率：69.9%） ②5年以内の転入者対象（2,000人） 1,168人（回収率58.4%）
⑤備 考	前回の調査：2014年度（2015年2～3月）・回収率52.8%

【年齢構成】

年代	全市民対象 (3,000人)		5年以内の転入者対象 (2,000人)		住基上の 年齢構成
10代（18歳以上）	36	1.7%	5	0.4%	2.3%
20代	142	6.8%	288	24.7%	12.2%
30代	228	10.9%	475	40.7%	14.8%
40代	375	17.9%	180	15.4%	18.1%
50代	374	17.8%	92	7.9%	15.2%
60代	377	18.0%	54	4.6%	14.2%
70代	390	18.6%	45	3.8%	14.4%
80代以上	114	5.4%	9	0.8%	8.8%
無回答	61	2.9%	20	1.7%	—
合計	2,097	100%	1,168	100%	100%

(2) 調査結果

① 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略で数値目標に設定しているもの (全市民対象(3,000人)の結果)

- ・数値目標をすべて達成しており、とくに「明石のまちに愛着を感じる人の割合」「住みやすいと思う人の割合」は90%以上となっています。「住みたい、住み続けたい」と思われる「選ばれるまち」の実現に向けた取組の効果が表れているものと考えられます。
- ・子育て環境が良いと思う人の割合が前回よりも20ポイント以上も上昇しており、その他の項目においても、10ポイント程度上昇しています。

項目	2009年度	2012年度	2014年度	2019年度	目標値 (2020)
明石のまちに愛着を感じる人の割合	80.8%	80.1%	80.6%	90.8%↑	85.0%
住みやすいと思う人の割合	83.2%	83.7%	83.0%	91.2%↑	88.0%
住み続けたいと思う人の割合	66.2%	72.0%	70.5%	81.7%↑	75.0%
子育て環境が良いと思う人の割合	—	—	49.5%	70.7%↑	55.0%
緑や海、公園など自然が豊かであると思う人の割合	—	—	70.2%	78.5%↑	75.0%

② 各分野の施策

◆良くなった分野

- ・「こどもを核としたまちづくり」の推進により、「子育て環境の充実」が高く評価されているものと考えられます。
- ・総合戦略に掲げる新たなまちの魅力として「本のある文化のまちづくり」の取組が評価されているものと考えられます。
- ・明石駅前の開発などにより、良好な都市環境の整備が高く評価されているものと考えられます。

順位	全市民対象 (3,000人)	5年以内の転入者対象 (2,000人)
1位	子育て環境の充実 (59.9%) [前回1位: 26.8%]	子育て環境の充実 (72.1%)
2位	本のまちの推進 (18.8%) [前回一位: —%]	本のまちの推進 (20.2%)
3位	良好な都市環境の整備 (14.1%) [前回8位: 10.3%]	良好な都市環境の整備 (17.6%)
4位	交通体系の構築 (13.2%) [前回4位: 14.9%]	交通体系の構築 (12.4%)
5位	地域福祉の推進 (12.5%) [前回3位: 16.3%]	観光の振興 (11.6%)

◆今後推進すべき分野

- ・全市民対象と5年以内の転入者対象の結果を比較すると2位～4位については、概ね同様の結果となりましたが、1位と5位については年齢構成の割合が反映された結果となっているものと考えられます。

順位	全市民対象 (3,000人)	5年以内の転入者対象 (2,000人)
1位	高齢者支援の充実 (35.8%) [前回1位: 37.0%]	子育て環境の充実 (27.0%)
2位	交通体系の構築 (22.7%) [前回4位: 15.5%]	交通体系の構築 (25.4%)
3位	地域医療の充実 (18.5%) [前回3位: 16.9%]	地域医療の充実 (18.0%)
4位	防災・生活安全対策の推進 (17.0%) [前回6位: 12.8%]	防災・生活安全対策の推進 (17.9%)
5位	就労・勤労者の支援 (16.0%) [前回5位: 15.0%]	学校教育の充実 (17.5%)

2 タウンミーティング

(1) 開催概要

開催日時	地 区	参加者	テーマ
2019年 6/30(日)14時～	魚 住	73名	①(仮称)17号池公園の整備 ②T a c oバスの利便性向上
2019年 7/28(日)14時～	大久保	60名	①J T跡地の開発 ②人口増加に伴う交通渋滞緩和策及び安全対策
2019年 8/31(土)14時～	二 見	56名	①二見地区の公共施設のあり方及び民間施設の活用
2019年 9/28(土)14時～	西明石	51名	①鉄道駅等の安全対策 ②公共施設のあり方(西明石地区)
2019年 10/27(日)14時～	明 石	27名	①オール明石で取り組む今後のイベント ②明石駅周辺施設の利便性向上
各地区共通テーマ:今後のまちづくりの方向性「SDGs未来安心都市・明石の創造」			

<市出席者> 泉市長、両副市長、政策局長

<参加者の属性(5地区計 267名)>

地 区	性別		年齢				
	男	女	0～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳～	不明
魚 住	42名 (58%)	31名 (42%)	0名 (0%)	0名 (0%)	13名 (18%)	41名 (56%)	19名 (26%)
大久保	42名 (70%)	18名 (30%)	2名 (3%)	6名 (10%)	13名 (22%)	35名 (58%)	4名 (7%)
二 見	34名 (61%)	22名 (39%)	0名 (0%)	2名 (4%)	12名 (21%)	39名 (70%)	3名 (5%)
西明石	30名 (59%)	21名 (41%)	1名 (2%)	6名 (12%)	9名 (18%)	34名 (66%)	1名 (2%)
明 石	20名 (74%)	7名 (26%)	1名 (4%)	3名 (11%)	6名 (22%)	17名 (63%)	0名 (0%)
合計	168名 (63%)	99名 (37%)	4名 (1%)	17名 (6%)	53名 (20%)	166名 (63%)	27名 (10%)

(2) 主な意見 (SDGs の項目で分類)



【3 すべての人に健康と福祉を】

《高齢者》

- ・高齢者が元気に活動出来るように、サンライフ明石を存続させてほしい。(西明石地区)
- ・介護保険の認定については、本人の様子、かかりつけ医、介護職員の意見を重視する様に見直してほしい。(大久保地区)
- ・高齢者の検診に骨密度を加えてほしい。(魚住地区)
- ・ふれあいの里は、2年ほど前に廃止の方向性が打ち出されているが、存続させてほしい。(魚住地区)
- ・昨年度から70歳以上のがん検診は受診券の申請が必要となった。また、今年度からは胸部検診が、個別検診ではなく集団検診のみになり不便。以前の制度に戻してほしい。(全地区)

《こども》

- ・中学校給食無償化は素晴らしい。小学校給食の無償化も早期に実現してほしい。(明石地区)
- ・放課後児童クラブの定員や指導員制度が変更されるなど、課題が多く学童保育の今後が心配。(明石地区)
- ・保育所の整備に併せて、保育の質もしっかりと確保してほしい。(明石地区)
- ・こどもの発達・成長には公立保育所を増やすことが大事であると思う。市の待機児童解消のあり方を見直してほしい。(西明石地区)
- ・こども食堂は、こどもや保護者の地域交流拠点機能や、色々な問題を早期に発見し、こどもセンターに繋ぐ機能等を担っている。(魚住地区)
- ・人口増加に伴い働きたくても働けないお母さんがたくさんいるため、保育所を整備してほしい。(魚住地区)

《その他》

- ・地域総合支援センターの間口を広げ、社会的弱者の支援を強化してほしい。(明石地区)
- ・厚生労働省が公立病院を廃止すると発表したのが、市民病院の廃止をどう考えるか。(西明石地区)
- ・ペットが飼えない方でも動物と触れ合う機会を作るために、あかし動物センターに持ち込まれたペットを収容した「ペットカフェ」を各地域に設置し、癒しの場や、外出機会の創出をしてはどうか。(大久保地区)
- ・大久保駅の喫煙所について、風向きによってはタバコの煙が漂ってくるので、設置場所を考えてほしい。(大久保地区)



【4 質の高い教育をみんなに】

- ・今夏、鳥羽小学校の体育館でのイベントで、ボランティアとして参加していた中学生が熱中症で倒れた。体育館の空調を早急に整備してほしい。(西明石地区)
- ・子育て支援策に力をいれているが、大学生への支援策も検討してほしい。(西明石地区)
- ・大久保地域は人口が増加しており、大久保小学校や大久保南小学校は空きがほとんどない。校庭も狭いので、休み時間に走れるスペースがない。この状況が数年続くと教育の地域間格差が出るのではないかと心配。(大久保地区)

- ・こどもが多いのに図書館がないため図書館を中心とした施設を作ってほしい。(大久保地区)
- ・伝統文化の継承のために、小学校で地元の方々による講習会が実施できないか。(大久保地区)
- ・学校運営協議会がスタートしているが、小学校運営における地域の参画について、広報などでもっとアピールしてほしい。(魚住地区)
- ・西部図書館の図書が更新が、あかし市民図書館に比べて少ない。(魚住地区)
- ・錦が丘中央公園に埋設保存されている寺山古墳を可視化してほしい。(魚住地区)



【6 安全な水とトイレを世界中に】

- ・コンセッション方式について明石の水道事業はどうするのか。(西明石地区)
- ・明石の水は評判が良いが、老朽管についてどう対応していくのか。(魚住地区)



【7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに】

- ・公共施設を建設するときは、省エネルギー、再生エネルギーをコンセプトに進めてほしい。(大久保・二見地区)
- ・再生可能エネルギーを地産地消することで、地域経済の発展や停電時の早期復旧が見込めることから、明石市でもエネルギーの地産地消を検討してはどうか。(明石地区)
- ・香川県三豊市では、燃えるゴミを燃やさず固形燃料に変えるトンネルコンポスト方式でゴミを処理している。明石市でも検討してほしい。(大久保地区)
- ・保育所など新しい建物の屋根に太陽光パネルが設置されていないのはもったいない。再生可能エネルギーの設備を導入したら、助成金が交付されるような仕組みを定められないか。(二見地区)
- ・再生可能エネルギーにより発電した電気で災害対応できる仕組みを考えてほしい。(二見地区)



【8 働きがいも経済成長も】

- ・人口増加に伴い、働きたくても働けないお母さんがたくさんいる。もっと保育所を整備してほしい。(西明石・魚住地区)
- ・消防団活動の参加者が少なくなっているので、70歳未満の元気な高齢者も加入出来るようにして、地域貢献に繋げてはどうか。(大久保地区)
- ・農地は食を生産する重要な場所であり、こども達に受け継ぐ資産であるが、農業の担い手不足により、遊休農地が多く発生している。農業者の声が届く仕組みづくりを検討するとともに、農業関連事業に予算をつけてほしい。(魚住地区)



【10 人や国の不平等をなくそう】

- ・市が進めている「やさしいまちづくり」「誰も取り残さないまちづくり」は、実績も伴って、前向きに進んでいると思う。(明石地区)
- ・障害者への合理的配慮やインクルーシブ教育が教育現場では対応されていない。教師に浸透することを期待したい。(大久保地区)
- ・市内に住む外国人と地域の親和性を高めるために、外国人の国籍や居住地、人口などの情報を行政側から提供してほしい。(二見地区)



【11 住み続けられるまちづくりを】

《まちづくり》

- ・明石駅周辺は急速に賑わい、11月にはB-1が開催される。これからも賑わいをさらに高めるために、商店や飲食店でのおもてなしの向上に取り組んでほしい。(明石地区)
- ・JR西明石駅南側のまちづくりの進捗状況と今後についてどうするのか。(西明石地区)
- ・山陽西二見駅北側を開発して人口の受皿とすれば、商業施設も活性化する。(二見地区)

《Tacoバス》

- ・ルートを見直して欲しい(全地区)
- ・1時間に1便では利用しづらい。せめて1時間に2便はほしい。(明石・大久保・魚住・二見地区)
- ・たこバスの明石東部への導入計画の検討状況はどうなっているのか。(西明石地区)
- ・無償化は有難いが、無償化だけではなく、利便性を高めてほしい。(魚住地区)
- ・高齢者のたこバス運賃無償化施策を廃止して、その財源で増便してほしい。(魚住地区)
- ・金ヶ崎ルートの積み残しを解消してほしい。(魚住地区)

【挙手制によるご意見(魚住地区)】

- *運賃無償化の対象者の拡大は行わず、増便やルートを拡大するほうが良い(10割程度)
- *運賃無償化をやめてでも増便するほうが良い。(5割程度)
- *運賃無償化の対象は現状のまま、可能な範囲で利便性の向上を図るほうが良い。(5割程度)

【挙手制によるご意見(二見地区)】

- *たこバスの充実化は、増便を優先してほしい。(8割程度)
- *運賃無償化をやめてでも増便やルート拡充を行うほうが良い。(9割程度)
- *寿タクシー券の増額継続をやめてでもたこバスの充実化をするほうが良い。(9割程度)

《鉄道駅・踏切等対策》

- ・JR明石駅東側の高架下が暗くて汚いため、改善策をお願いしたい。(明石地区)
- ・山陽電鉄とも包括連携協定を締結すれば、山陽電鉄の駅ももっと改善できると思う。(明石地区)
- ・西明石駅に九州新幹線のさくら号が停車するようにJRと交渉してほしい。(西明石地区)
- ・JR西明石駅東側改札をバリアフリー化してほしい。(西明石地区)
- ・山電藤江駅南側に改札を整備してほしい。(西明石地区)
- ・南畑踏切の今後の進め方について、地元へ詳細な説明をしてほしい。(西明石地区)
- ・南畑踏切の北側は通学路なので安全対策をお願いしたい。(西明石地区)
- ・JR大久保駅のホームの拡幅と、雨対策として屋根を設置してほしい。(大久保地区)
- ・板額踏切に歩道と賢い踏切を整備してほしい。(大久保地区)
- ・山電中八木駅のバリアフリー化や周辺道路の整備を進めてほしい。(大久保地区)
- ・JR魚住駅西側の踏切(山の神第2踏切)を拡幅してほしい。(魚住地区)
- ・山電山陽魚住駅のホームは、上りも下りも階段であり困っている利用者がある。しっかりバリアフリー対応してほしい。(魚住地区)
- ・山電山陽魚住駅北側に改札を設置するように、市から山陽電鉄に要望してほしい。(二見地区)
- ・東二見農協前の踏切を拡幅し、遮断時間を短縮してほしい。(二見地区)

《道路等の整備》

- ・道路幅員が狭く危険な箇所があるため、通学路の安全対策をしっかりとしてほしい。(西明石・大久保・魚住・二見)
- ・子育て関連施策の予算を捻出するため、下水道予算の削減を実施しているが、最近の驚異的な大雨に対応出来るのか。(明石地区)
- ・国道2号線の渋滞緩和に最も効果的な江井ヶ島松陰新田線の整備が進んでいることは評価する。(大久保地区)
- ・山手環状線大窪工区のうち、大久保病院までの道路を早急に拡幅してほしい。(大久保地区)
- ・国道2号線の渋滞緩和のため、山手環状線と江井ヶ島松陰新田線の整備を同時に着手してほしい。(大久保地区)
- ・西脇皿池横の里道の拡幅工事が進んでいないので進めてほしい。(大久保地区)

《公園整備》

- ・市内にバスケットボールをして遊べる公園がないため、大蔵海岸などにフルコートのバスケットコートを整備してほしい。(明石地区)
- ・藤江の焼野(卸売市場の西側)にある新池を活用して公園の整備を検討してほしい。(西明石地区)
- ・子どもから高齢者まで憩えるような緑の多い公園を作してほしい。図書館や障害者施設が併設されるのも良い。(大久保地区)
- ・魚住清掃工場跡地に、子どもから高齢者まで集えて遊べる広場がほしい。(魚住地区)
- ・野々池緑地部分に、野球、サッカー、グラウンド・ゴルフなどができる多目的広場を整備してほしい。(二見地区)
- ・鴻池親水公園と瀬戸川親水空間の整備を実現してほしい。(二見地区)

《(仮称)17号池公園》

- ・校区には公園がないので大変嬉しい。子どもも高齢者も利用できる「憩いの場」と「スポーツ公園」を合わせた場所になったら良いと思う。(魚住地区)
- ・野球・サッカーだけでなく、グラウンド・ゴルフができるようにしてほしい。(魚住地区)
- ・公園への出入に当たり、国道2号線は車両が多く、右折や左折が難しいため、スムーズに出入できるように考えてほしい。(魚住地区)

【挙手制によるご意見(魚住地区)】

*野球専用ではなく、野球も出来る多目的な芝生広場が良い。(9割程度)

《JT跡地》

- ・JT跡地の周辺道路について、住民が要望している交差点の改良や信号機の設置、道路の拡幅、板額踏切の拡幅などは、地元の意見を入れて計画的に取り組んでほしい。(大久保地区)
- ・民間開発用地の西側と北側の民有地取得に向けて積極的に取り組んでほしい。(大久保地区)
- ・地域住民が集える芝生広場やイベントができる舞台、ランニングコースが整備されれば、住民同士が交流できる。(大久保地区)
- ・利活用について、計画の作成段階から住民参画で進めてほしい。(大久保地区)

【挙手制によるご意見(大久保地区)】

*図書館の整備を検討しても良い。(8割程度)

*子育て支援施設の整備を検討しても良い。(8割程度)

- *生涯学習拠点の整備を検討しても良い。(7割程度)
- *グラウンド整備を検討しても良い。(5割弱程度)
- *市役所の整備を優先した方が良い。(4割程度) 優先しなくてもいい。(4割程度)

《庁舎・公共施設》

- ・西明石地区に市民センターを設置してほしい。(西明石地区)
- ・市役所の移転は大反対。現在の市庁舎を補強して使用すれば良い。今後、少子高齢化対策でお金がかかるので節約すべき。(大久保地区)
- ・国の財政支援メニューである市町村役場機能緊急保全事業の適用を受けるためには、2020年度までに実施設計に着手することが要件となっており、候補地決定は急ぐべき。(大久保地区)
- ・人と人を繋ぐ機能を持つスペースがないので、情報発信拠点や交流拠点が必要だと思う。公共施設の空きスペースや既存施設を活用すれば、コストをかけずに整備できる。(大久保地区)
- ・二見西小学校東隣の今池を埋め立てて、市民センターや西部文化会館の機能を持った複合施設(図書館、市民の憩いの場、こども・高齢者向け施設、温泉施設、避難所機能を併設)や、野球やサッカーができる運動施設の整備を検討してほしい。(二見地区)
- ・旧イオンタウン跡地の一部に公共施設を導入し、こどもから高齢者まで気楽に立ち寄れる憩いの場を整備してほしい。(二見地区)
- ・「市民活動支援センター」の西部拠点を整備してほしい。(二見地区)
- ・本庁舎の移転先は、地震発生時においても指揮命令機能が果たせる場所が良い。(二見地区)

【挙手制によるご意見 (二見地区)】

- *二見市民センターを含めた複合施設を整備しても良い。(8割程度)
- *二見市民センターは西部文化会館周辺に移転整備してほしい。(8割程度)

12 つくる責任
つかう責任



【12 つくる責任つかう責任】

- ・プラスチックゴミ問題やゴミの減量の市民啓発について、しっかり取り組んでほしい。(魚住地区)
- ・粗大ゴミの収集について、年1回でも構わないので復活してほしい。(魚住地区)

13 気候変動に
具体的な対策を



【13 気候変動に具体的な対策を】

- ・地球温暖化対策として、化石燃料から再生可能エネルギーの転換を進めてもらいたい。(明石地区)
- ・地球温暖化問題について、市長の基本的な考え方、想いはどうなのか。(西明石地区)
- ・再生可能エネルギーなど環境に配慮したエネルギー施策を進めるためにも、地域エネルギーを専門的に取り扱う部署を創設し、地球温暖化への対策を研究してはどうか。(西明石地区)

14 海の豊かさ
を守ろう



【14 海の豊かさを守ろう】

- ・林崎松江海岸は海水浴シーズンになるとゴミが散乱しており、環境が悪化している。(西明石地区)
- ・せっかく海があるので、汚れた海藻を除去したり、駐車場アクセスを改善して、こどもも大人も気軽に行けて楽しめる環境にしてほしい。(二見地区)
- ・漁業活性化のため、市の組織を充実してほしい。(二見地区)



【16 平和と公正をすべての人に】

- ・厚生労働省と連携しながら地域共生社会を進めることを期待している。(二見地区)



【17 パートナーシップで目標を達成しよう】

- ・ユニバーサル歯科診療所や（仮称）あかし観光案内所などの取組で「明石市はやさしいまち」という認識が広まれば、市民同士がより支え合える関係性が築けると思う。(明石地区)
- ・年に一度は、市長と住民との意見交換の機会を持ってほしい。(西明石地区)
- ・明石市がSDGsを推進していることはとても良いことだと思う。(大久保地区)
- ・行政から発信する施策を市民に浸透させるために、行政・福祉施設・当事者・地域団体・一般住民までが相互理解できるシステムの構築が必要である。(大久保地区)
- ・学校園庭を開放してこどもの居場所づくりをしてほしい。(大久保地区)
- ・PTAは学校と家庭を繋ぐ大切な役割を担っているが、共働きの子育て世帯が増え、PTAが面倒という風潮が広がっており、今後の運営に不安を感じている。(二見地区)
- ・SDGsの推進には民間企業との連携が必要である。(二見地区)

3 子育てモニターとの市長懇談会

(1) 開催概要

①開催日時	2019年8月3日(土) 〈第1部〉午後1時30分～午後2時30分 〈第2部〉午後3時～午後4時
②開催場所	パピオスあかし6階 こども健康センター健診室
③出席者	子育てモニター(子育て中の保護者や妊娠中の方) 〈第1部〉 20名 〈第2部〉 24名

〈市出席者〉 泉市長

(2) 主な意見

〈保育所・幼稚園〉

- ・無償化施策により、多くの方が転入してきているが、待機児童が発生しており、保育所の整備を進めてほしい。
- ・3歳児を担当する保育士の配置が少ない。必要に応じた対応を市独自で取り入れてほしい。
- ・保育所の入所について、利用者目線での入所基準にしてほしい。また、出産後の体調が戻る時期だけでも上の子どもを預けられるようにしてほしい。
- ・幼稚園の3歳児保育について、希望者全員が受けられるようにしてほしい。
- ・幼稚園給食について、週に何日かだけでも、併設の小学校で作っている給食を提供できないか。

〈子育てサポート・産前産後ケア〉

- ・緊急で、自分も子どもも体調が悪い時に、誰かに助けてもらえるようなサポートがほしい。
- ・ファミリーサポートについて、会員数が少なく、書類や事前の打ち合わせなど、利用のハードルが高いと感じる。
- ・産前産後のケアを充実してほしい。ヘルパーの派遣により、2時間だけでも休めるのは、心身とも疲れているときに助かっている。
- ・子育てにおいて、親が不安やストレスを抱いていると子どもに影響を与えるので、親のケアも考えてほしい。

〈障害児支援〉

- ・学校の普通学級にも支援が必要な子どもが多くいるので、介助員を充実してほしい。
- ・療育機関を選ぶ上での情報提供や各機関の取組の底上げをしてほしい。

〈情報発信・交流の場〉

- ・子育てイベントの周知をもっとしてほしい。また、平日の午前イベントが多いので、午後から行けるものや土日にやってほしい。
- ・ママ友を作りやすい場をもっと広げてほしい。
- ・タウンミーティングに参加した際、子育て世帯のことを考えてくれる高齢者の方が多かったので、地域の方と交流できる場所があったら良いと思う。

4 高齢者大学での市長懇談会

(1) 開催概要

開催日	開催日時	コミセン	参加者
2019年 11月19日(火)	10時～11時	野々池コミセン	62名
2020年 1月15日(水)	10時～11時	大久保北コミセン	85名
	13時30分 ～14時30分	魚住東コミセン	61名
2020年 2月5日(水)	13時30分 ～14時30分	朝霧コミセン	67名
2020年 2月7日(金)	10時～11時	江井島コミセン	58名

＜市出席者＞ 泉市長

(2) 主な意見

①まちづくり全体について

- ・明石は子育てしやすいまちになってきたと思う。
- ・インクルーシブなまちの実現に向けて、子育て層のみならず高齢者支援に幅広く取り組んでいただき感謝している。
- ・少子化問題だけでなく、高齢者施策も更に充実してほしい。
- ・各施策を小学校区ごとに進めているが、地域もすべて同じ環境ではないので、必要に応じてという姿勢も大事である。
- ・災害対策をしっかりとやって、防災に強いまちにしてほしい。
- ・やさしいまちも良いが、美しいまちにもしてほしい。

②各施策について

＜高齢者施策＞

- ・老々介護が不安である。
- ・介護施設への入所待ちをなくしてほしい。
- ・高齢者の一人暮らし、二人暮らしが増え、閉じこもる人が多くなっているため、外出を促す取組や、健診・医療相談は各地域に出向くようにしてほしい。
- ・地域に人が集まるスペースや施設があれば、閉じこもりがなくなると思う。
- ・高齢者の運動促進のため、公園利用料の高齢者割引を検討してほしい。

＜公共交通等＞

- ・たこバスの便数を増やしてほしい。高齢者のたこバス無料化より、多くのルートをまわってほしい。
- ・高齢者のたこバス無料化は非常に助かっている。無料ということが、気持ちの面でも大きな効果がある。
- ・墓園行きのバスを平日も運行してほしい。
- ・運転免許返納についてもっと色々な案を打ち出してほしい。

<その他>

- ・西明石駅周辺の整備（南北通路など）を進めてほしい。
- ・J T跡地を有効に活用してほしい。
- ・17号池公園の整備により、高齢者の健康増進や、魚住の活性化を図ってほしい。
- ・子どもや高齢者が行ける小さな公園、図書館を整備してほしい。
- ・子育て世代が増えたことによって生じた学校の過大校の問題や小児科の不足などにも対応してほしい。
- ・空き家対策に取り組んでほしい。

5 第1回あかしSDGs推進審議会での意見

(1) 開催概要

①開催日時	2020年2月3日(月) 10:00~12:00
②開催場所	明石市役所 議会棟2階 大会議室
③出席者	あかしSDGs推進審議会委員(当日20名の出席) 泉市長、副市長、政策局長、政策室職員
④議事内容	<ul style="list-style-type: none">・本市の状況(好循環)・「(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」の策定(概要)・第5次長期総合計画の検証・「(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」の考え方

(2) 主な意見

<本市の状況、第5次長期総合計画の検証>

- ・10年程前までは、障害があることを隠す必要があったが、配慮施策が取り入れられ、障害者であることを声に出せる明石になってきた。インクルーシブ条例の検討が進むと、本当に安心して生活や社会参加できると思う。
- ・現在、本当に好循環だと思う。近くでも家がたくさん建って子供たちの声がたくさん聞こえるようになっている。
- ・子育て世代が多く入ってきていることは良いことだと思う。また、明石駅は最近とてもぎやかになってきたが、他の所はちょっと寂しいと思う。

<(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)>

- ・市民の皆さんは、SDGsという抽象的な概念が、具体的にどういうことなのかも分からないのではないかと。インクルーシブなどの直感的に理解しにくい言葉も含めて、分かりやすい言葉に置き換えて伝える必要がある。
- ・まちでSDGsのバッジを見かけることもあり、また、電車等でもSDGsのアイコンを目にする機会が増えている。明石市でも市民にしっかりと知ってもらう必要があるのではないかと。
- ・持続可能という同じテーマを掲げている東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であり、このタイミングをうまく利用して明石市として実現することを具体的に示す一番いい時期であると考えます。
- ・地球温暖化や気候変動が進んでいる中で、環境面の取組が少し弱いのではないかと。また、気候の変化に伴う災害への防災も重要であり、市民の意識も高まっている。
- ・環境の上で社会が成り立っており、環境をベースにした構造の方が良いと感じる。SDGsの3側面には色々な見せ方があるので、工夫してほしい。

6 あかしSDGs推進審議会委員への書面での意見聴取

(1) 開催概要

①実施時期	【第1回】 2020年9月29日(火)～10月16日(金) 【第2回】 2020年11月2日(月)～11月18日(水)
②聴取内容	【第1回】 ・(仮称)あかしSDGs推進計画(骨子案) 【第2回】 ・(仮称)あかしSDGs推進計画(骨子案) ・(仮称)あかしSDGs前期戦略計画(構成案) など

(2) 主な意見

① (仮称)あかしSDGs推進計画骨子案

<2030年のあるべき姿(目指す10年後のまちの姿)について>

- ・象徴的な目標として、「住みやすいと思う人の割合100%」を掲げたことは、大変明確であり、意味がある。
- ・象徴的な目標として「住みやすいと思う人の割合100%」を掲げているが、努力目標として掲げているのであれば問題ないが、2030年に数値を評価するのであれば、達成可能な目標が望ましい。
- ・「住みやすいと思う人の割合」と合わせて、「住み続けたいと思う人の割合」についても目標にしてはどうか。
- ・「持続可能」が前提条件のように書かれていることに違和感がある。「SDGs未来安心都市・明石」に不可欠なのは、市民の「持続可能」に対する理解を深めることではないか。

<まちづくりの方向性>

- ・SDGsの目標はすべて、環境面、社会面、経済面と深くつながっており、この三側面をどのように工夫していくのが大切である。具体的な施策の実施に当たっても、三側面が独立することなく、バランスを保てるように検討すべきである。
- ・三側面のまちづくりの方向性に市民の位置付けをはっきりすべきである。
- ・防災に対する取り組みも進めてほしい。(環境)
- ・明石の環境面の現状に「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」の両方に配慮した表現とすることが、「人にも自然にも地球にもやさしいまち」につながる。(環境)
- ・「健康」や「教育」といった具体的な用語を絡めた目標も必要ではないか。(社会)
- ・「こどもを核としたまちづくり」に力を入れたまちづくりを推進しているのは分かるが、高齢者や障害のある人への手立て・取組も必要ではないか。(社会)
- ・近所ではあいさつをしても返してこない人が多い。「すべての人が助け合い」をどのように達成するのか、具体的な取組を考えていきたい。(社会)
- ・新型コロナ後の社会の中で、地域密着型のライフスタイルの創造、デジタルインフラについても記載してはどうか。(経済)
- ・「定住人口」と「交流人口」の拡大についても記載してはどうか。(経済)

<その他>

- ・SDGsは人材の育成が最も大事だと思う。
- ・「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」の考え方を、ハード・ソフト両面でつり合いの取れた取組を実施することが大切である。
- ・他県に住むことになろうとも、最後は“帰ってきたい”と思えるまちにしていくべきである。
- ・明石の海が今どういった現状で、今後どうしていきたいのか、市民にあまり浸透していないように思う。
- ・子ども世代に比べ、高校から大学生への支援が少ないように感じる。
- ・障害者に対する合理的配慮の趣旨やノーマライゼーションの考え方をもっと普及・啓発してほしい。
- ・市全体のまちづくりと校区のまちづくりを共に発展させていくことが大切である。
- ・個人の衣食住の質・デザイン性が向上しているなか、美しい街並みの実現が必要ではないか。
- ・明石市に安心して住むということは、雇用に安心できることである。安定な雇用だけでなく、柔軟な働き方や意義のある仕事を見つけられることが大事である。
- ・子ども達が成長して、転出しないように地場産業の育成が必要である。

②（仮称）あかしSDGs前期戦略計画構成案

- ・5つの施策を中心に進めていくことは良いと考える。5つ以上に柱を設定すると焦点がわかりにくくなる。
- ・5つの施策展開の柱が、「環境・社会・経済の三側面」に対して、どのように関わっているのかを示すとつながりと根拠が理解しやすい。
- ・三側面に施策や数値目標を位置付けたほうが、分かりやすいのではないか。
- ・数値化できない、できにくい目標について、どのように設定していくのか考える必要がある。
- ・前期戦略計画は、推進計画の方針を受けて、これを実現させるための方向性や重点的な取組をまとめたもので、個別計画とのつながりになるものとする。個別計画を策定する関係部署との十分な意見交換が必要である。
- ・温室効果ガス排出量をゼロに近づけるための取組や数値目標を掲げていくべきである。
- ・SDGs未来都市に選定された市として、他市の手本となるようなものにすべきである。